

## 医歯薬学総合研究科 修士課程 保健学専攻の教育理念・目標

医歯薬学総合研究科保健学専攻は、人の健康的な社会生活をサポートするスペシャリストの養成、また、様々な健康水準にある人々を対象に、健康回復・維持・増進のために保健医療活動を、科学的根拠に基づいて効果的かつ効率よく行うことができ、さらに幅広い視点から個人および組織・社会全体にアプローチしていく実践力と専門職としての学問体系を自ら築く力を持つ人材の育成を教育理念とし、修了生に以下の諸能力・資質を身につけることを教育目標としています。

- ・ 柔軟な思考力と豊かな創造性
- ・ 社会のニーズに対応し、他領域の人々と連携・協働できる力
- ・ 倫理的配慮を踏まえた高度な臨床実践能力
- ・ 科学的根拠に基づいた研究・教育を実践する力
- ・ 国際的視座にたって活動できる力

この教育目標を達成すべく、以下に挙げる3つのポリシーに基づいた修士課程教育を行います。

## 医歯薬学総合研究科 修士課程 保健学専攻のディプロマ・ポリシー

所定のカリキュラムによる教育プログラムに定められた単位を修得したうえ、論文審査および最終試験に合格し、

- ・ 人間や生活に関わる幅広い学問領域の知識を修得している。
- ・ 高度専門職業人に必要な知識や理論を修得している。
- ・ 看護・助産学、理学・作業療法学領域における高度な臨床実践能力を修得している。
- ・ 科学的に探究する研究手法ならびに教育的手法を修得している。
- ・ 他領域の人々と連携・協働するための調整能力を身につけている。
- ・ 高い倫理観を持って実践できるリーダーシップを身につけている。

と認められた者に対し、看護学分野にあつては修士（看護学）、理学療法学分野にあつては修士（理学療法学）、作業療法学分野にあつては修士（作業療法学）の学位を授与します。

### 学位論文審査基準

#### 修士論文コース

- ・ 研究テーマが当該研究領域において、独創性及び有用性が高いこと。
- ・ 当該研究領域において課題を的確に把握し、解明するための十分な情報収集力と知識があること。
- ・ 研究の方法及び対象者に対して倫理的配慮がされていること。

- ・ 研究の方法（調査方法，データ解析，提示方法）が科学的根拠に基づき，適切であること。
- ・ 論文の記述（要旨，本文，図・表，文献など）が充分であり，序論から結論まで一貫して論理的で、整合性があること。

遺伝看護・遺伝カウンセリングコース，がん看護専門看護師養成コースおよび助産師養成コース

- ・ 研究目的は専門看護分野の知識・技術の向上や開発を図るための意義や独自性があること。
- ・ 研究の方法は専門看護分野において妥当であること。
- ・ 実践の場における研究であること。
- ・ 研究の方法及び対象者に対して倫理的配慮がなされていること。
- ・ 考察と結論が妥当であること。

## 医歯薬学総合研究科 修士課程 保健学専攻のカリキュラム・ポリシー

保健学専攻では，教育目標に掲げる人材を育成するために，大きく以下の方針に基づき教育課程を体系的に編成・実施します。

- ・ 専攻共通科目では，豊かな人間性と広い視野の獲得，および専門領域における基礎的知識を補強し，専門的理解を促進するための能力を養います。
- ・ 関連科目では，高度専門職業人としての優れた専門的知識・技術を涵養します。特に，セミナー科目では，保健医療に関する課題が解決できる高度な臨床実践能力を獲得するための能力を養います。
- ・ 各分野特別研究では，適切な研究手法を選択し，自ら課題に取り組む能力を向上させます。
- ・ 他分野の専門領域を理解し，連携・協働できるようになるために，他分野の専門科目の一部を修得できるように編成します。
- ・ 高い倫理観を持って保健学分野の発展に必要な創造性豊かな探究心とリーダーシップを養います。
- ・ 専攻共通科目，講座専門科目は主に試験またはレポートで評価し，分野特別研究では公開審査を行います。

保健学専攻には，看護学，理学療法学，作業療法学の3つの専門領域があり，各専門領域に応じ「修士論文コース（看護実践科学，公衆衛生看護学，リプロダクティブヘルス，理学療法学，作業療法学）」，「遺伝看護・遺伝カウンセリングコース」，「がん看護専門看護師養成コース」，「助産師養成コース」の4つのコースを設け，それぞれ特徴のあるカリキュラムを編成・実施しています。各コースのカリキュラム・ポリシーは以下の通りです。

## 修士論文コースのカリキュラム・ポリシー

- ・ 専攻共通科目では、保健学の幅広い領域に対応できる知識・技術およびその能力を修得するための基盤を養います。

学修の到達度は、主に筆記試験、およびレポートにより評価します。

- ・ 関連科目では、保健学の各分野に関する高度の専門性や実践力を身につけます。

学修の到達度は、主に筆記試験やレポートにより評価します。特に、セミナー科目では、保健医療分野で国際的に貢献するために必要な知識・技術および実践力を修得します。学修の到達度は、主にレポートにより評価します。

- ・ 各分野特別研究では、生命・医療倫理の深い知識に根ざした先進的な保健・医療・開発研究を実践できる人材を養成します。

学修の到達度は、レポートやプレゼンテーション、ディスカッションで評価しますが、最終的には修士論文の審査に合格することにより評価します。

科目に関する別表（修士論文コース）

科目等 資質等		専攻共通科目 （*下記の選択科目から 10単位以上）	関連科目	分野特別研究
主として養われる資質	基礎的知識 ・理解	生体情報科学特論* 医療情報特論*		
	専門的知識 ・理論	臨床免疫学特論* 生体機能解析・制御学特論* メンタルヘルス特論* 看護理論* 看護教育論* 保健医療社会学特論*	看護実践科学特論 公衆衛生看護学特論 ヘルスプロモーション特論 リプロダクティブヘルス特論 地域・国際助産学 呼吸器障害理学療法学特論 発達障害理学療法学特論 運動障害理学療法学特論 地域リハビリテーション学特論 身体障害作業療法学特論 生活障害作業療法学特論 精神障害作業療法学特論 発達障害作業療法学特論 基礎作業療法学特論	
	高度な臨床 実践能力	グローバルヘルス特論* 国際協力特論*	看護実践科学セミナー 公衆衛生看護学セミナー リプロダクティブヘルスセミナー 周産期救急ケア演習 地域助産学演習 国際助産学演習 理学療法学セミナー 作業療法学セミナー	
	研究手法・ 教育的手法	研究方法特論* 保健学研究の統計的理論と 実践* 保健統計学特論*		看護実践科学分野特別 研究 公衆衛生看護学分野特 別研究 リプロダクティブヘル ス分野特別研究 理学療法学特別研究 作業療法学特別研究
	調整能力・ 倫理観・ リーダーシ ップ	コンサルテーション特論* 看護倫理* 看護管理学特論*		

## 遺伝看護・遺伝カウンセリングコースのカリキュラム・ポリシー

- ・ 専攻共通科目では、医療技術の進歩や研究で得られた最新の知見を検索する能力と、医療専門職者として研究的に思考し、かつ倫理観を持って分析するための基礎的知識を学びます。

学修の到達度は、レポートにより評価します。

- ・ 関連科目では、遺伝的問題を有する人々への看護ケアや遺伝医療におけるあらゆる選択において、自律的に決定できるよう、遺伝医学的判断に基づいた情報提供、遺伝カウンセリングを实践できる知識と技術を学びます。

学修の到達度は、一部科目は筆記試験、その他はレポートやプレゼンテーション、ディスカッションを通じて評価します。

- ・ 分野特別研究では、遺伝看護および遺伝カウンセリングの实践につながる研究活動を遂行するために必要な手法を身につけます。

学修の到達度は、レポートやプレゼンテーション、ディスカッションが評価対象ですが、最終的には修士論文の審査に合格することで評価します。

科目に関する別表（遺伝看護・遺伝カウンセリングコース）

科目等 資質等		専攻共通科目	関連科目	分野特別研究
主として 養われ る資質	基礎的知識 ・理解	医療情報特論	分子遺伝系 カウンセリング技法	
	専門的知識 ・理論	保健医療社会学特論	遺伝医療学 基礎遺伝解析学演習	
	高度な臨床 実践能力		遺伝看護実習 遺伝カウンセリング実習	
	研究手法・ 教育的手法		遺伝看護セミナー	リプロダクティブヘルス分野 特別研究
	調整能力・ 倫理観・ リーダーシ ップ	看護倫理		

## がん看護専門看護師養成コース

- ・ 専攻共通科目では、がん看護の対象である患者の生体で起こる現象を論理的・科学的に理解する能力を養います。さらに、専門看護師に求められる6つの役割である実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究のための基礎的な能力を養います。

学修の到達度は、主にレポートにより評価します。

- ・ 関連科目では、がん患者の全人的苦痛を理解し、患者やその家族に対してQOL(生活の質)の視点に立った水準の高い看護を提供するために必要な能力を養います。また、がん患者・家族への直接的なケア実践において、様々な症状・苦痛についてアセスメントし、エビデンスに基づき判断・対処する能力を養います。さらに、がん看護専門看護師が果たすコーディネーション、コンサルテーション、倫理調整、教育、研究の能力を養います。

学修の到達度は、主にプレゼンテーションやレポートにより評価します。

- ・ がん看護学課題研究では、がん看護領域における特定の課題を設定し、研究的手法を用いてがん患者およびその家族への看護実践に貢献できる知見や技術を探求します。

学修の到達度は、レポートやプレゼンテーション、ディスカッションで評価しますが、最終的には修士論文（課題研究）の審査に合格することにより評価します。

科目に関する別表（がん看護専門看護師養成コース）

科目等 資質等		専攻共通科目 （*下記の選択科目から 10単位以上）	関連科目	分野特別研究
主として 養われる 資質	基礎的知識 ・理解	生体情報科学特論	臨床薬理学 フィジカルアセスメント特論	
	専門的知識 ・理論	看護理論* 保健医療社会学特論*	集学的がん治療学特論 がん看護特論 がん看護援助論 がん薬物療法看護Ⅰ・Ⅱ 緩和ケアⅠ・Ⅱ	
	高度な臨床 実践能力		がん看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・ Ⅳ・Ⅴ	
	研究手法・ 教育的手法	研究方法特論* 看護教育論*		がん看護学課題研究
	調整能力・ 倫理観・ リーダーシ ップ	コンサルテーション特論* 看護管理学特論* 看護倫理*		



## 助産師養成コース

- ・ 専攻共通科目では、医療技術の進歩や研究で得られた最新の知見を活用する能力を学びます。医療専門職者として研究的に思考し、かつ倫理観を持って実践するための基礎的知識を学びます。

学修の到達度は、筆記試験やレポートにより評価します。

- ・ 関連科目では、助産師として必要な知識や技術を学びます。周産期領域の最新のエビデンスの活用の仕方を学修し、水準の高い助産実践を提供するために必要な緊急時の対処についても学びます。また、地域やグローバルな場での実践活動を通じて、助産学の視点を深めるために必要な能力を養います。

学修の到達度は、一部科目は筆記試験、その他はレポートやプレゼンテーション、ディスカッションにより評価します。

- ・ 分野特別研究では、助産および周産期・母子保健領域の実践につながる研究活動を遂行するために必要な手法を身につけます。

学修の到達度は、レポートやプレゼンテーション、ディスカッションで評価しますが、最終的には修士論文の審査に合格することにより評価します。

- ・ 近接分野との連携・協働ができるように、グローバルヘルス研究科の専門科目の一部を修得できるように編成します。

科目に関する別表（助産師養成コース）

科目等 資質等		専攻共通科目 （*下記の選択科目から 10単位以上）	関連科目	分野特別研究
主として養われる資質	基礎的知識 ・理解	生体情報科学特論* 医療情報特論*		
	専門的知識 ・理論	臨床免疫学特論* 生体機能解析・制御学特論* メンタルヘルス特論* 看護理論* 看護教育論* 保健医療社会学特論*	リプロダクティブヘルス特論 ウイメンズヘルス特論 地域・国際助産学 妊婦助産診断・ケア学 産婦助産診断・ケア学 褥婦助産診断・ケア学 新生児助産診断・ケア学 周産期メンタルヘルス <u>☆熱帯医学・グローバルヘルス研究科より、小児保健Ⅰ、グローバルヘルスⅠを受講可能。</u>	
	高度な臨床実践能力	グローバルヘルス特論* 国際協力特論*	リプロダクティブヘルスセミナー ウイメンズヘルス演習 周産期救急ケア演習 地域助産学演習 国際助産学演習 助産業務管理学演習 高度助産技術実践論 助産学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	
	研究手法・ 教育的手法	研究方法特論* 保健学研究の統計的理論と実践* 保健統計学特論*		リプロダクティブヘルス分野特別研究
	調整能力・ 倫理観・ リーダーシップ	コンサルテーション特論* 看護倫理* 看護管理学特論*	リプロダクティブヘルス特論 地域・国際助産学 助産業務管理学	

## 医歯薬学総合研究科 修士課程 保健学専攻のアドミッション・ポリシー

保健学専攻は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 大学院での専門的な知識と技術の修得に必要な基礎学力を有する。  
幅広見識の上に、より高度化した専門知識や技術を習得するために必要な基礎学力を評価するため、出願時に成績証明書の提出を求めるとともに、入学者選抜で英語と小論文を課します。
- ・ 思考力や、判断力、表現力に優れている。  
序論から結論まで一貫して論理的で整合性のある論文を記述するために必要な思考力・判断力・表現力を評価するため、入学者選抜で小論文を課します。
- ・ 強い興味や、関心、探求心を有する。  
看護学、理学療法学、作業療法学に対する強い興味や関心、探求心を評価するため、出願時に志望理由および研究の抱負の提出を求めるとともに、入学者選抜で面接を課します。
- ・ 高い倫理性と、他者への共感性や協調性、リーダーシップを有する。  
研究実施に必要な高い倫理性と、他者への共感性や協調性、ならびにリーダーシップを評価するため、入学者選抜で面接を課します。
- ・ 国際的な学術文献の講読に必要な英語読解力を有する。  
研究実施に必須である国際的な学術論文の講読に必要な英語読解力を評価するため、入学者選抜で英語を課します。
- ・ 修士論文コース以外のコースへの進学を希望する場合、看護師免許を有することが必要です。
- ・ 遺伝看護・遺伝カウンセリングコース、がん看護専門看護師養成コースへの進学を希望する場合、関連する領域における臨床経験（2年以上が望ましい）を有することを求めます。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○)）

入試区分	求める資質等	基礎学力	思考力・判断力・表現力	強い興味・関心・探求心	倫理性・共感性・協調性・リーダーシップ	英語読解力
一般入試	成績証明書	○				
	英語	◎				◎
	小論文	○	◎			
	志望理由および研究の抱負		○	◎		
	面接			◎	○	
社会人入試	成績証明書	○				
	英語	◎				◎
	小論文	○	◎			
	志望理由および研究の抱負		○	◎		
	面接			◎	○	
外国人留学生入試	成績証明書	○				
	英語	◎				◎
	小論文	○	◎			
	志望理由および研究の抱負		○	◎		
	面接			◎	○	